

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：本江他美夫 幹事：長谷川壘人

情報委員長：春田義正

1987・3月5日 第335号

オーバミックポリス構想

— 金沢の未来像 —

金沢経済同友会常任幹事

辻興産(株)社長 辻 卓氏



オーバミックポリスというのは、金沢の将来のビジョンを研究する、以前の都市ビジョン委員会を改めたものです。

県や市の行政サイドが、現在の金沢の経済状況を分析し、計画投資された事業が、収支決算からみて今日、はたして十分に成功しているか、投資効率でそれを他にふり向けていけば結果はどう違ったか。

それには金沢という町の、従来から一般的になっていた常識が、はたして正確なのかを分析してみる必要があります、それが委員会の目的になりました。昨年10月に小冊子オーバミックポリスを出しましたが、その本意は市民に正確な金沢像を認識してもらいたいからです。

金沢に関する一般の常識の第一は、管理中核都市で、百万石の遺産で喰っていると云うものです。事実廃藩置県の当時は、全国有数の人口規模でしたが現在は30位で、そんな凋落の意識が一般化しています。しかし、東洋経済新報社が毎年出す都市機能ランキングは、全国647都市の密集、雇用力、環境、収入、福祉、サービス、娯楽性など多項目にわたる都市機能を科学的に採点していますが、その総合得点で金沢は、東京、大阪、福岡、名古屋に次ぐ5位にランクされる上位です。

次に常識になっているのは、これといった産業のない消費都市とされていることです。明治以後急速に発展した日本の産業のなかで先人が着目した繊維には、勿論先進県があつて、石川県がやれたのは羽二重のような付加価値の低い量産品でしたが、そのために木製の力織機から鉄製の生産と、繊維産業は秘かに今日の機械産業へと進行して、目立たぬうちに経済力がついてきました。

金沢と同じ城下町の松江は工業化がまったく果せなかった消費都市ですが、他の城下町和歌山と比較すると、生産額は金沢の3倍なのに卸売額は60%しかなく、大分でも出荷額は大きいが市民の所得は15%も低いのは、利潤を中央の本社に持っていかれる支店経済のためです。これは人口の多い仙台、札幌、福岡にも云えます。2次産業をそれとなく持つ均衡のとれた金沢型経済は今、経済学者の研究課題となっています。

(中面につづく)

他に金沢の常識として、繊維、鉄工といった中小企業は、不況に弱いとか、また能登を搾取して大きくなったなどと云われます。石川県の経済活性化のキーワードは文化イコール感性にあり、創造性も都市のアメニティも優秀な金沢は、富山、福井に比べても若者が帰郷する魅力を持ち将来も明るいのです。県政の重要な立案は、地元人材の手にならず、テクノプラターによるものを無条件に受け入れた先端技術や、大企業誘致の政策にマスコミも同調ムードですが、もし間違った金沢の常識を鵜呑みにした投資なら、庇を貸して母家を取られぬようにしたいものです。

—金沢北RC例会講話より— (文責 吉田富士夫)

私 の 名 刺

磯 野 洋 明



この度、金沢北ロータリークラブに入会をお許し戴き、誠に有難うございます。

当クラブには、私の先輩、友人、知人の方々が多く、是非北ロータリーにと思って居りましたが、事業に又地域社会に於て立派な範としてご活躍の皆様方と歩調を合わせることが出来るものかどうかと、一人敷居を高くして居りました。私は、浅野本町にて北日本測量株式会社を営んでいます。私の父三郎が32年前に創業し、私が継ぎまして今日に至っておりますが、皆様方には何を商っているのかなかなかご理解いただけない業種だと思えます。欧米列強の国々が

極東進出を図りつつあった19世紀初頭、日本全国の海岸線や街道をくまなく実測して、初めて精密な日本の地図をつくりあげた伊能忠敬先生の測量技術を受けついで今年で170年の歳月が経ちます。今でもこの技術の基本的な原理原則は変わらず、その成果に対して、精緻にして美しく、利用価値の有るものが求められる点においては、金沢が誇る伝統工芸に相通じている様な気が致します。

当社では、この様な基礎技術を土台として、海の深浅を測り、又航空機により地上を撮影して広範囲の地域をより精度よく、速く地図という情報を作成し、国土の開発、地域の発展の一端をお手伝いさせて頂いて参りました。最近では、土木工事の調査、設計、監理の他に関連する技術を複合させて、赤外線の特性を生かした航空撮影による地域の環境調査や人工衛星から得られるデータにより土地の利用状況の把握をしたりしており、現在は、地理及び都市の持つ複雑な属性を地図をベースにして、コンピューターに多重分類入力することにより、必要な情報を組み合わせて、利用し易い情報を提供するコンピューターマッピングの技術開発を行っております。

このように、測量業は私にとって大切な基盤ではありますが、現状は建設コンサルタント業としての比重が大きくなり、今後は情報産業の分野に分類される時が来るのではないかと考えられます。10年前の当社の業務内容と比べますと、我ながら技術の進歩と社会のニーズの多様化には驚かされます。商売としての新しい技術や商品を創造することは常に困難を伴いますが、尽ない興味と喜びを感じます。

しかし、私の仕事は地域に住む人々が、より良い環境で、より豊かな生活を目指していただくための露払い的な役目なのでしょう。これからも、腕っ節の強い縁の下の力持ちでありたいものです。

これよりは、よろしくご指導下さいます様、心よりお願いを申し上げます。

1986～1987年度第261地区
地区大会御案内

「希望の船出だ奈古の海」

期 日 昭和62年4月25日(土)・26日(日)
会 場 新湊市中央文化会館
ホスト 新湊ロータリークラブ

日 程	行 事	場 所	時 間	登録料・参加料	摘 要
4月24日(金)	ゴルフ大会	高岡カントリークラブ	8:00 受付 9:00 スタート	5,000円	プレイ料等各自ご負担願います
4月25日(土) 大会第1日	大会委員会 会長幹事懇談会	新湊市中央文化会館	9:30 登録受付 10:00 大会委員会 10:30 会長・幹事懇談会 11:00 終了・昼食休憩	会 員 13,000円 御家族 9,000円	大会委員会 信任状審査・決議 決議採択・選挙
	本 会 議	新湊市中央文化会館 小ホール	12:00 登録受付 13:00 開会点鐘 RI会長挨拶 新P.ハリス 米山功労者紹介 14:15 休 憩 14:30 シンポジウム 「日本海時代を考える」 16:30 終了 諸事お知らせ		パネリスト 富山大学名誉教授 高 瀬 重 雄 金沢工業大学教授 伊 能 忠 敏 参議院議員 永 田 良 雄
	RI会長代理 御夫妻歓迎晩餐会	ホテル第一イン新湊	17:30 開 会 食事・懇談・アトラクション 19:30 閉 会		
4月26日(日) 大会第2日	本 会 議	新湊市中央文化会館 大ホール	8:00 登録受付 8:30 登録委員会 9:00 本会議開会点鐘 13:00 記念講演 14:45 本会議 15:30 閉 会		記念講演 「私の家族」 弁護士(アメリカ) ケント・ギルバート
	大会の夕べ	新湊市総合体育館	15:30 会場移動 16:00 開 会 18:00 閉 会		地元芸能披露

(時間を若干変更する場合があります)

今週の花

吉山宥海
(2月12日)

白 も じ
雪 割 草



